

JTA ジュニアランキング対象大会管理細則

第 16 条 (A1 大会シード選手及び補欠選考規則)

国内ジュニア大会のシーディングについて、下記の条項を原則とし、別途大会毎に「シード基準」を定める。

1. 「シード基準」作成の原則：対象大会と戦績の序列

- ① 別表 7「シード基準の対象大会一覧表」により定める。
- ② 年齢カテゴリー間の序列については、別表 8 の「総合順位表」により定める。
- ③ 同一条項に複数いる選手の順位は、コンソレーションの結果など、極力客観的な資料に基づいて定める。
- ④ 対象大会が複数ある時は、直近大会の戦績を重視する。

2. シード選考の手順

シードの選考においては以下の手順でシーディングを行う。

- ① シード対象選手・ペアの選出
 - (ア) ナショナルチームが推薦した選手
 - (イ) 「シード基準」により選出された選手・ペア (対象大会と同一ペアに限る)
 - (ウ) (ア), (イ) でシードが不足する場合は、ドント配分で上位地域 (MUFJ ジュニアの場合は都道府県) から順に選出する
- ② シード順位の決定

シード順位の決定は、シード基準を参考に、その位置を含め選考委員会で決定する。

シード順位には、ITF ランキング及びジュニアグランドスラム大会等の戦績を反映する、その対象となる最低ラインの範囲 (順位、戦績) は、ナショナルチームが責任を持って、時宜見合った判断をした上で提案する。

3. 補欠、オルタネイト (A/Alternate) 選手の選考

補欠選手は、地域予選に該当する大会 (MUFJ は都道府県予選) に出場し、エントリー締め切り日までに要項に記載の方法で申し込みをしたが、本戦予選リストに受け入れられなかったプレーヤーとする。

- ① 補欠、オルタネイト (A/Alternate) の順位は、選考会議の時点で最新の JTA ジュニアランキングとする。
- ② ランキングのないプレーヤーの順位は、最新の記録を基にして、大会選考委員会が決定するが、それが困難な時は抽選で決定する。
- ③ 予選または本戦の欠場者が出た場合は、随時ランキング上位者から予選または本戦へ自動的に繰り上がる。
- ④ ウィズドローしない限り、繰り上がった選手はドローに名前が記載される。出場の意思がない選手は必ず要項に記載のウィズドロー期限までにウィズドローしなければならない。

JTA ジュニアランキング対象大会管理細則

- ⑤ 試合当日に会場へ来なかった場合は、ノーショーとしてペナルティの対象となる。
- ⑥ 補欠，オルタネイトリストに名前が載ったプレーヤーで、出場を希望するプレーヤーはサインインをしなければならない。サインインは指定された時刻までに、指定された場所で行われ、自身でサインしなければならない。サインイン指定時刻への遅刻はいかなる理由も認められない。
- ⑦ A1大会では、オンサイト・オルタネイト(OSA/On-Site Alternate)は行わない。

第17条 (A1大会選考委員会)

1. 構成
 - ① 大会ディレクター
 - ② 大会レフェリー
 - ③ トーナメント委員会代表
 - ④ ナショナルチーム代表
 - ⑤ ジュニア委員会代表
2. 選考委員会の議長は大会ディレクターが務める

第18条 (改廃)

この細則の改廃は、常務理事会の議決を経て行う。

第19条 (ダブルエントリー)

本戦の日程が1日以上重複する2つ以上のJTA ジュニアランキング対象大会のドローに名前が載ったプレーヤーはダブルエントリーとなり、ただちに該当するトーナメントのすべての種目について失格となる。トーナメント開始後、ダブルエントリーが判明した場合は、そのトーナメントに於ける当該プレーヤーの全ての記録と資格を抹消するが、相手選手の記録はそのままとする。

1. ダブルスのペアの一方がダブルエントリーとなり、もう一方の選手はダブルエントリーになっていない場合は、ダブルスペアとしての記録抹消と資格剥奪に関してのみ同じ処分を受ける。
2. 日程が重複するトーナメント同士であっても、以下の組合せの場合は、ダブルエントリーの対象外とする。
 - ① JTA ジュニアランキング対象大会と、国内で開催されるITF・ATF 公認国際ジュニア大会
 - ② JTA ジュニアランキング対象大会と学校大会等、要項等で日程の重複が認められた大会